

富岡区民（氏子）の皆様へ

車神社だより



車神社をつなぐ会
平成30年12月15日
NO. 10

初詣は氏神様から

年の瀬も間近になりました。年末年始にはいろいろな年中行事がありますが、今回は「初詣」についてご案内させていただきます。

初詣とは、「年が明けてから初めての神社やお寺へのお参り」のことをいい、旧年の感謝と新年がよい年になるように願掛けを神様に行くための行事です。初詣はどこの社寺から行くべきという決まりはありませんが、古来、元旦の社寺参拝は氏神神社、またはその年の恵方の方角にある社寺に参拝するのが決まりだったようです。

富岡の氏神神社は車神社ですので、まずは車神社へお参りしていただくのが基本となります。氏神様とは、その土地に住む人々を守ってくださる最も身近な神様です。氏神様やまとたけるのみこと おおひるめのみこと（日本武尊、大日靈尊）のご加護にあずかれるよう、元旦から正月三が日に車神社へお参りされることをお勧めいたします。



ドローン撮影による車神社

なお、歳旦祭は1月1日、午前10時より執り行われますので、ご家族お揃いでご参詣ください。

授与品の効果は1年

神社仏閣へよく足を運ばれる人ほど幸福度が高いとされ、多くの寺社を訪れる信心深い人もおみえのことと思います。ところで、授与品の効力が話題になることがあります。有効期限はいつまでか、はっきりしたものではありませんが、一般的には効力は1年とされています。厳密に365日ではないようですが、徐々に効力が薄れていくということです。

お守りやお札などは、神様が宿る神聖なものです。1年ごとに新しい授与品を授かることで、清らかな効力のある授与品を持ち、御利益を最大限にいただくようにしてください。

来年用の授与品を多くの方からお求めいただきましたが、申し込みをお忘れの方は、富岡ふるさと会館にてお祓い済みの授与品をお求めできますこと、ご案内申し上げます。



新城ラリーで一番人気の車守り

